

Headache, mental health, and use of medical resources: health diary study in Japan.

Yamazaki S, Fukuhara S, Green J, Takahashi O, Shimbo T, Endo H, Hinohara S, Fukui T.

本研究の目的は、第1に、頭痛とMental Healthの関連性を検討すること、第2に、頭痛愁訴者の受療行動を記述することであった。対象は、日本の世帯を代表するようにサンプルし、1ヶ月間毎日愁訴の有無と受療行動を記録させた。ベースライン調査でSF-8 Health Surveyを測定し、SF-8のMental Healthドメインと頭痛との関連性をロジスティック回帰により解析した。また、頭痛愁訴者の割合および頭痛愁訴時の受療行動を記述し、受療行動と関連のある要因の検討を行った。解析した2371人中、対象期間中の頭痛愁訴者は716人だった。716人のうち、52人は医療機関で受診し、475人は市販薬や鍼灸等他の医療を使用し、189人は頭痛に対して何の行動も取らなかった。解析の結果、メンタルヘルスが10ポイント(1SD)減少ごとに、頭痛愁訴が1.2倍程度増加した。また、かかりつけ医の存在が受療行動と関連していた。